

令和3年度多治見市子どもの権利セミナーアンケート 結果

回答者 55 名 / 参加者 69 名

Q1. 年齢を教えてください。

20代	5人
30代	10人
40代	9人
50代	24人
60代	5人
未回答	2人

Q2. お住まいの地域を教えてください。

市内	36人
市外	19人
未回答	0人

Q3. 参加するきっかけは何でしたか？

広報たじみ「tajimist」	1人
公共施設設置チラシ	1人
知人から	0人
FMびび	0人
市からの案内	23人
フェイスブック	0人
市ホームページ	2人
職場からの紹介	28人
未回答	0人

Q4. 子どもの権利相談室をご存じでしたか？

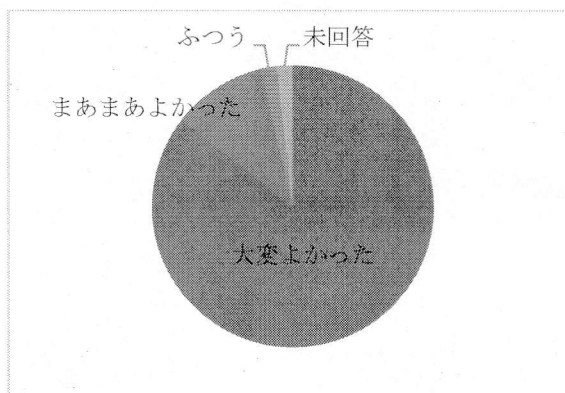
知っていた	44人
知らなかった	10人
未回答	1人

Q5. 子どもの権利相談室を紹介したいと思うか？

大いに紹介したい	11人
紹介したい	40人
わからない	3人
未回答	1人

Q6. 講演会はいかがでしたか。

大変良かった	47人
まあまあよかった	6人
ふつう	1人
あまりよくなかった	0人
よくなかった	0人
未回答	1人



令和3年度子どもの権利セミナーについて

- ・子どもたちが自らの存在を認められることで、矜持をもち、自らの思いを表現する場を与えられることで、自己満足感をえられること。そこから行動をおこすことで、自らをよりよい方向にもっていこうとすることができる。その手助けをできればと感じた。
- ・「絆」「つながる」災害や事件があったときによく聞く言葉ですが、コミュニケーションが人権を守る1つの大きなキーワードだと改めて思った。
- ・講演の内容がとても分かりやすかった。子どもの権利について知るとともに、子どもたちが支援をもとめることがとても難しいという現状も知ることができた。学校でも子どもたちに少しでも伝えていきたいと思う。
- ・名古屋駅で着ぐるみを着た子どもたちを見かけたことがある。その活動をしている方のお話を聞くことができ、大変貴重な経験となった。
- ・支援機関を利用したいと思わない子どもたちが多くいることを受け止め、しんどい子どもたちが気軽に話せる環境を整えることが重要であると思った。声をかけることサインをキャッチすることの大切さを改めて考えさせられた。
- ・講師の視点が良かった。居場所作りが必要と思った。
- ・とても分かりやすく聞きやすい話だった。実践していらっしゃる活動についてもっと伺いたかった。またどこかで話を聞けたらと思った。
- ・子どもに近い立場の方のお話で、関わり方、寄り添うポイントなど参考になった。
- ・声掛け活動の大切さがよく分かった。勇気がいるが身近で行っていきたい。

その他・運営について

- ・空調管理をお願いしたい。（暑かった、寒かったと意見あり）
- ・擁護委員報告会の質疑応答の時間が短かった。
- ・進行の方のアナウンスが聞きとりやすくて良かった。

Q10. 今後、子どもの権利に関わるセミナー、講演会等で希望するテーマがあれば教えてください。

- ・今回のようなテーマを聴きたい。
- ・子どもの貧困、思春期の貧困
- ・自傷行為に向かってしまう子どもたちを守るためにみたいなテーマ
- ・NPOなどで活動している現場の声、今回の様なものが分かりやすい
- ・学校の中での現状（現場の先生だった人の声など）
- ・居場所をどうやって作っていくのか？